

安心してお話しいただくために Ver.1.1

教育のアトリエは、教育に関わる実践や迷い、願いについて、対話を通して一緒に考える場所です。

安心は、「安心してください」とお伝えするだけで生まれるものではないと考えています。

このご案内では、安心して対話するために、教育のアトリエが大切にしている六つのことをお伝えします。

1. 話すことも、進め方も選べること

すべてを話す必要はありません。問いに答えないこと、まだ言葉にならないと伝えること、少し考えること、話題を変えること、休憩や終了を申し出ることも選べます。

2. 答えを急がない余白があること

限られた時間の中で、必ず答えや結論を出すことを目的にはしません。何かが決まることだけでなく、新しい問いや、「まだ決めなくてよい」という感覚も大切にします。

3. 話したことが丁寧に扱われること

お話しいただいた内容は、原則として、ご本人の許可なく第三者へ伝えません。対話を振り返るために必要な範囲でメモを取りますが、残したくない内容は記録しません。録音・録画は行いません。詳しい扱いは、「個人情報と記録の扱い」でお伝えします。

4. スケッチや追伸が、評価や宿題にならないこと

対話の終わりには、見えてきた問いや願いを、言葉や図による「スケッチ」として残します。後日お届けする「追伸」とともに、診断や評価、完成した計画ではありません。返信や行動を求めるものでもありません。

5. できることと、できないことが明らかであること

教育のアトリエは、医療、心理、法律、労務などの専門的な支援に代わるものではありません。別の支援が適している場合は、ご本人の希望を確かめながら、選択肢を一緒に考えます。

6. 違和感を、あとからでも伝えられること

対話の後に違和感や不安が残った場合や、スケッチ・記録の修正を希望される場合は、後からでもお知らせください。

連絡先 contact@【取得したドメイン】

教育のアトリエは、完璧な安心を約束することはできません。

それでも、安心を相談者だけの責任にせず、場をつくる側の仕事として、考え、整え、手入れし続けます。